

令和 7 年 7 月 23 日

報道関係 各位

南方熊楠顕彰館
館長 松居 竜五

2025 年度南方熊楠研究会夏期例会公開シンポジウムの開催について

平素は、南方熊楠翁顕彰事業にご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、南方熊楠顕彰会では、下記のとおり、公開シンポジウムを開催しますので、報道方
よろしく願いいたします。

記

■2025 年度南方熊楠研究会夏期例会

公開シンポジウム「南方熊楠はどのようにして英語を学んだのか」

日 時：令和 7 年 8 月 2 日（土）15:30～17:30

会 場：田辺市文化交流センター「たなべる」 2 階大会議室

内 容：1867 年に生まれた南方熊楠は、明治時代の新しい学校制度の中で、本格的に英
語教育を受けた最初の世代にあたる。熊楠がいた当時の和歌山中学、東京大学予
備門の英語教育はどのようなものだったのだろうか。また、熊楠は、19 歳で日
本を離れた後、米国・英国での独学を通じて飛躍的に英語力を伸ばしたと考えら
れる。どのようにして英語学習を進めたのだろうか。今回のシンポジウムでは、
こうした問題を取り上げる。

定 員：60 名

聴講料：無料

申込み：南方熊楠顕彰館（0739-26-9909）まで電話でお申し込みください。

※詳細は添付のチラシをご参照ください。

■連絡先

田辺市教育委員会

文化振興課 南方熊楠顕彰館

担当：崎山 TEL：0739-26-9909

1867年に生まれた南方熊楠は、明治時代の新しい学校制度の中で、本格的に英語教育を受けた最初の世代にあたる。熊楠がいた当時の和歌山中学、東京大学予備門の英語教育はどのようなものだったのだろうか。また、熊楠は19歳で日本を離れた後、米国・英国での独学を通じて飛躍的に英語力を伸ばしたと考えられる。どのようにして英語学習を進めたのだろうか。今回のシンポジウムではこうした問題を取り上げる。

英語

を学んだのか

南方熊楠は どのようにして

日時 2025 8.2 SAT 15:30~17:30

会場 田辺市文化交流センターたなべる
2階 大会議室

定員 60名（事前申込制・聴講無料）

発表者

南方熊楠と明治初期の英語教育

井村 誠（大阪工業大学教授）

南方熊楠の英語学習について

—東京大学予備門時代を中心に—

プラダン・ゴウランガ・チャラン（ZEN 大学講師）

抜き書きから読み解く在米時代の南方熊楠の英語力

—ウェブスターの『アメリカ英語辞典』からの抜き書きの考察を中心に—

吉川 史子（広島修道大学教授）

コメンテーター

河野 至恩（上智大学教授）

司会

松居 竜五（龍谷大学教授 / 南方熊楠顕彰館館長）

参加申込



南方熊楠顕彰館
MINAKATA KUMAGUSU ARCHIVES

TEL 0739-26-9909

E-mail minakata@mb.aikis.or.jp

